

スポーツYAMATO

国体北信越予選 第3位



さあリーグ後半戦に向けて再スタート

本国体への切符獲得ならず

国民体育大会北信越大会が8月20日〜21日福井県越前市で行われた。初戦は新潟県と戦い、15-103回コールドで圧勝。準決勝は福井県との戦いとなった。初回に2点を先制され、2回に1点を返したものの、3回には3点を追加されてしまった。得点のチャンスは幾度となく作れる事が出来たが、なかなか1本が出ず、1-5で敗戦となり、残念ながら本国体への切符を得ることは出来なかった。優勝は金沢学院大学メンバーで構成された石川県が本国体への出場を決めた。コロナによる準備不足、選手のコンディション、選手不足により、万全の試合を行うことが出来ず悔しい結果にはなってしまったが、その中でも左のエース齊藤の活躍が光った。この大会では失点することがなくリーグ後半戦に向けて期待が持てるピッチング内容だった。移籍2年目の夏を迎えて素晴らしい成長と次代を担うエースとしての自覚が芽生えた齊藤。高校時代は激戦の埼玉県で母校花咲徳栄高校をインターハイへと導いた齊藤が後半戦投手陣の要となるだろう。



リーグ後半戦

国体、全日本総合の2つの全国大会で敗退し、シーズン後半戦はリーグ戦の3節、4節、順位決定戦を残すのみとなった。プラチナセクション前半戦を全勝で1位を突っ走る大和電機にとつては十分な準備を出来る期間が出来た事になる。今回の国体予選では良い選手を入れて強化してきた福井県に負けはしたが、攻撃も守備も粘れる力がついてきたと杉野監督は評価している。その粘りをモノに出来るかどうか。新チ

ムで若返りしたが、ベテランと若手の融合による総力がリーグ戦全勝と言う奇跡的な活躍を生んだ。後半戦に向けて万全な準備を整えば、前半戦の勢いが再び出てくることは間違いなさだろう。まずは、間近に控えたリーグ3節鹿児島大会に向けて新たに再スタートだ。

注目選手

本誌が後半戦の注目選手として挙げるのは、大卒ルーキーの上原彩瑛と宮崎遥希だ。両選手ともレギュラーに定着し、その力を発揮している。2人の活躍がチームの勝利に。是非とも要チェックしていただきたい選手だ。

